

# 株式会社三栄金属製作所

もともとは長屋にプレス機1台を置いて父が始めました。当時は木製ドアがサッシドアに変わる時で、万博景気で仕事も多かったそうです。私は高校卒業後に家業を手伝うことに。その後、弟も加わり、さらに義弟も金型製作を経験したのち参画。プレスと金型を一緒にしたら規模が大きくなっていきました。

製品の設計、金型、プレス、金属と樹脂との結合加工など、社内で一貫して製造。たとえば、水回り製品の製造を行う会社で、当社は4番手か5番手の扱い。金具はうち、樹脂は別の会社で製造していたので、そのうち仕事がなくなるかもしれないと不安でした。そこで考えたのが樹脂と金属を一緒にすること。2台の成形機を整備し、一貫生産を行ったところ、1カ月3万個ぐらいを納入するなど、取引が拡大しました。

まかせてもらえばとことんやる。それが我が社の考えです。信頼関係を大切にしながら、当社に依頼する価値に気づいてもらう。これからもそうやって事業を着実に成長させていきます。

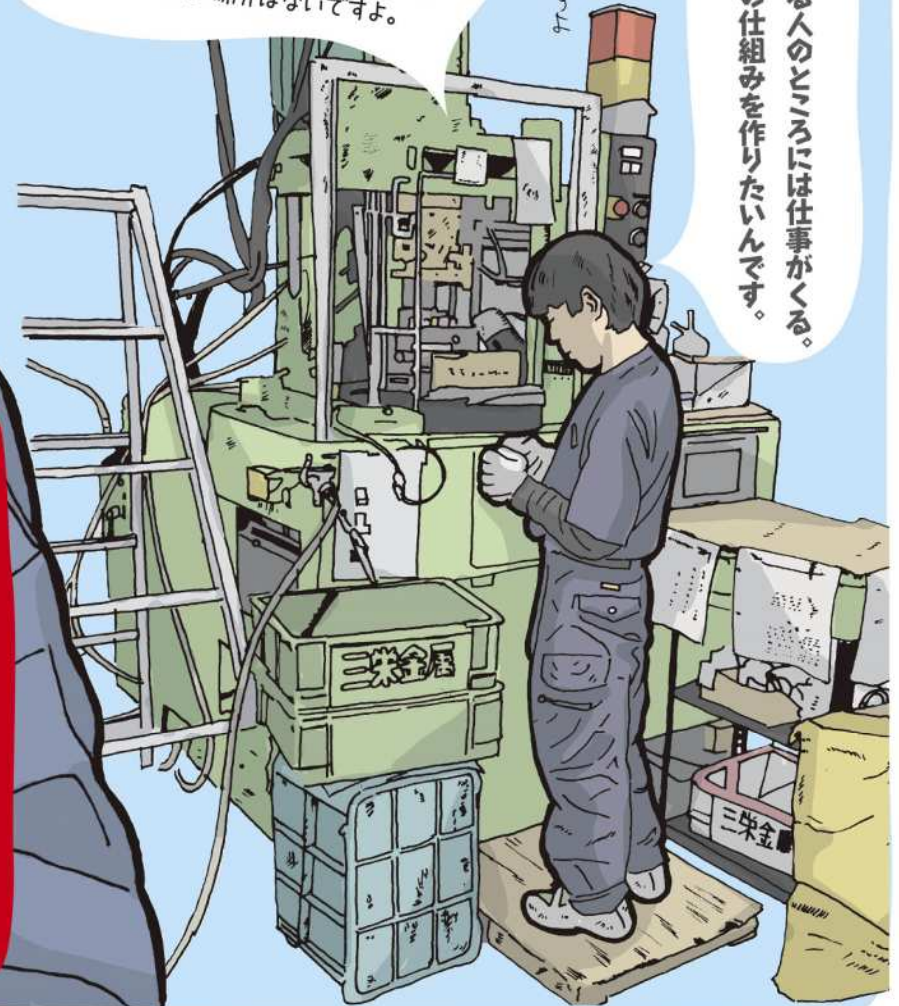
設計、金型、プレス、樹脂成型、加工  
なんでもやることで取引が広がるんです

代表取締役 山下 裕司さん

生野ほどのづくりに適しているところはない。時間と運送費かけて協力会社に依頼するよりも、自転車で行けるところにいろんな会社がそろっている。隣はメッキ屋、5分いけばバフかけ、など。こんな便利な場所はないですよ。

技術のある人のところには仕事がある。人の流れの仕組みを作りたいんです。

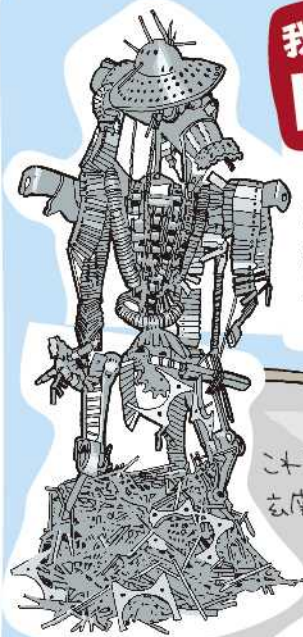
技術のある人のところには仕事がある。人の流れの仕組みを作りたいんです。





## 我が社の 自慢 廃材が照明に!

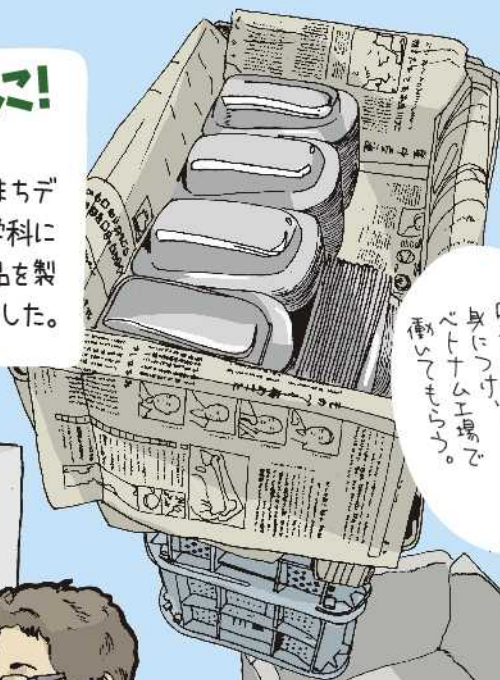
暮らしを豊かにするデザインイベント「まちデコール」に賛同。専門学校や大学の建築学科に通う学生が、加工で出た廃材を使って商品を製作。バッグや時計、照明カバーなどに変身した。



これも廃材で作られたオブジェ。  
玄関で来客を迎えている。

71歳のパートさんは、  
ベトナム人研修生に  
「お母さん」と呼ばれています。

定年無し、と決めてるんですが、  
それでもどっかで区切らないと、  
いつまでも働いてくれる。  
楽にしてあげな、というのが悩みですわ。



ベトナム人研修生は、  
日本に技術を持ってきてくれる。  
ベトナム工場でも  
働いてもらう。

ベトナム人の研修生。  
日本で技術を  
身につけて、  
ベトナム工場に  
働いてもらう。

## 金型、プレス加工、樹脂成型 一貫して自社で行う

三栄金属製作所の企業理念は、「責任あるものづくり」「価値ある製品」の提案提供。金属製品や金具からスタートしたが、現在では樹脂のインサート、バフ研磨も行うなど一貫生産で、お客様が価値を見出す商品を次々と作り出してきた。

同社の特徴は、金型製作やプレス加工、溶かし原料を金型に入れて固める「樹脂射出成型」などを自社で行うこと。金属加工だけでなく金属と樹脂を組み合わせるものなど、対応できる商品の幅が広い。キッチンや洗面、浴室などに使用される止水弁は、1カ月で3万個を納入。水回り品では、80アイテム以上も製造している。建築用部品では、屋根に使用する防水シートの留め金具は、1カ月50万個以上を生産。塩化ビニールのシートに、IH工法という電圧で金具を付け納品。化粧品ボトルのキャップは月間30万個も製造する。あらゆる工程を自社で行うので、メンテナンスや修理も自社でできる。

取引先は1業種1社で、同じ業界で複数の取引先を持たない。その理由は、仕事よりも、信頼が大事。ひとつひとつの取引先の中で、一番大きな取引ができるようになれば、着実に安定した取引につながる。今後は医療器具や車など、新しい分野に挑戦したいと意欲的だ。

### 株式会社三栄金属製作所

<http://www.sanei-1970.com/>  
〒544-0006 大阪市生野区中川東1-8-19  
TEL 06-6754-7682 FAX 06-6754-7678

事業内容 / 金属プレス加工業、金属プレス金型設計製作業、2次加工